

令和8年度入学試験問題（後期日程）

小論文

医学部 医学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。
6. 解答する際の字体は楷書とし、ていねいに書くこと。

1

次の文章は、学術誌 Lancet に掲載された記事 “Good governance essential to expanding vaccine capacity and strengthening public trust” の一部を抜粋し改変したものである。この文章を読んで、以下の各問に日本語で答えなさい。

非公開

非公開

(Lee, K., & Kohler, J. (2025). Good governance essential to expanding vaccine capacity and strengthening public trust. Lancet, S0140-6736(25)01681-2. より抜粋・一部改変)

問 1 下線部 (1) に関して、筆者らは、ワクチンに対する公衆の信頼回復のために 4 つの提案を行っている。それらはどのような提案なのか、各提案について 80 字以内で説明しなさい。

問2 下線部 (2) に関して、医療におけるソーシャルメディアの利点と問題点について、あなたの考えを200字以内で説明しなさい。

2

次の文章は、Nature medicine に掲載されたヒト脳に沈着するマイクロプラスチックに関する記事の一部を抜粋し改変したものである。この文章を読んで、以下の各問に日本語で答えなさい。

非公開

非公開

(Nihart, A. J., et al. (2025). Bioaccumulation of microplastics in decedent human brains. Nature medicine, 31(4), 1114–1119.より抜粋・一部改変)

[注釈]

1. anthropogenic: [環境や生態の変化が] 人間が原因の、人為改変の
2. spectroscopy: 分光法(光の吸収や反射、透過を利用して物質の組成や構造を明らかにする手法)
3. particulate: 微粒子
4. pyrolysis gas chromatography–mass spectrometry (Py-GC/MS): 熱分解ガスクロマトグラフィー質量分析計
5. parenchyma: [臓器の] 実質
6. resuspend: 再懸濁する
7. pellet: 沈殿物、沈渣
8. transmission electron microscopy: 透過型電子顕微鏡(電子線を用いて試料の微細構造を観察する顕微鏡)
9. elimination route: 排泄経路

問 1 脳に沈着するマイクロプラスチック、ナノプラスチックの特徴について、その大きさと種類について着目し、本文の内容を踏まえつつ、100 字以内で説明しなさい。

問 2 下線部 (1) を 150 字以内で和訳しなさい。

問 3 問 2 について、筆者らがなぜそのように仮定したのか、ゼブラフィッシュの実験結果を引用しながら、150 字以内で説明しなさい。

3

次の文章は、科学雑誌 BMJ open に掲載された “Trajectories of functional limitations, health-related quality of life and societal costs in individuals with long COVID: a population-based longitudinal cohort study” の一部を抜粋し改変したものである。この文章を読んで、以下の各問に日本語で答えなさい。

非公開

非公開

(Wang, J., et al. (2024). Trajectories of functional limitations, health-related quality of life and societal costs in individuals with long COVID: a population-based longitudinal cohort study. *BMJ open*, 14(11), e088538. より抜粋・一部改変)

問 1 Long COVID の主な症状と、それらが日常生活や社会に与える影響について、本文の内容を踏まえて、150 字以内で説明しなさい。

問 2 下線部 (1) を 80 字以内で和訳しなさい。

問 3 本文では、Long COVID の影響を理解するために「前向き研究 (prospective study)」が重要であると述べられている。その必要性と意義について、本文の内容を踏まえて、150 字以内で説明しなさい。

4

次の文章は、科学雑誌 Nature reviews psychology に掲載された “Vulnerability factors shed light on stress generation in depression” の一部を抜粋し改変したものである。この文章を読んで、以下の各問に日本語で答えなさい。

非公開

非公開

(Harrison T. J. Vulnerability factors shed light on stress generation in depression. *nature reviews psychology*, 4, 72, 2025. より抜粋・一部改変)

[注釈]

1. exacerbation : 増悪
2. neuroticism : 神経症
3. sociotropy : 社会依存性
4. bipolar disorder : 双極性障害
5. interrelatedness : 相互関連性

問 1 下線部 (1) が指す内容を本文に従い 30 字以内で説明しなさい。

問 2 下線部 (2) について、'vulnerability factors' が指している 3 つの要因を、本文の内容を踏まえて、50 字以内で説明しなさい。

問 3 下線部 (3) について、Liu and Alloy が示す具体的な提案を本文の内容を踏まえて、150 字以内で説明しなさい。

令和8年度入学試験問題（後期日程）

小論文

医学部 医学科

出題の意図

出題の意図：アドミッション・ポリシー内の「生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人」の選抜に関わる出題である。平素より関心を持つべきトピックスとして、ワクチンに関する問題を題材とした英文を選択した。

問1 英文の読解力、医学・生物学的知識、論理的思考を評価する。

問2 論理的思考、要約力を評価する。

解答例：

問1 (各4点)

①政府は適切な官民連携を明確に規定し、その情報を国民に透明性をもって示すべきである。(41字)

②新しいワクチンに関わる全関係者が、統一された基準と手続きのもとに利益相反申告を行うことが必要である。(50字)

③ワクチンの安全性を確保し、利益優先ではないことを示すために、効果的な安全性監視体制・市販後調査体制が必要である。(56字)

④新たな、または変化する病原体による重篤な病状や死亡の相対的リスクとワクチンによる有害事象についてより適切に周知すべきである。(62字)

問2 (9点)

利点としては、情報の迅速な共有が可能になることや、同じ疾患をもつ患者がつながり従来は難しかったコミュニティを容易に形成することができるようになることなどが挙げられる。

一方、問題点として十分にファクトチェックのされていない誤情報・偽情報の拡散、個人情報情報の拡散によるプライバシーの侵害、また過剰な情報検索や共有による依存や精神的負担などが考えられる。(173字)

出題の意図：アドミッションポリシー内の「生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人」の選抜に関わる出題である。平素より関心を持つべきトピックスとして、現代社会における環境と健康を題材とした英文を選択した。

問 1 比較的長い英文の読解力, 要約力, 表現力, 論理的思考, 最も重要なポイントを簡潔に示すことができるかを評価する。

問 2 比較的長い英文の読解力を評価する。

問 3 比較的長い英文の読解力, 要約力, 表現力, 論理的思考, 最も重要なポイントを簡潔に示すことができるかを評価する。

解答例：

問 1 (5点)

主に 100-200 nm の長さの破片が脳実質に沈着し、1-5 μm の大型のものはみられない。ポリエチレンが平均 75%を占める。(62 字)

問 2 (10点)

本研究で分析された脳内のプラスチックの総質量濃度は、過去 8 年間で約 50%増加した。したがって我々は、マイクロプラスチックの環境濃度が指数関数的に増加していることが、同様に内部の最大濃度も増加させているかもしれないと仮定した。(112 字)

問 3 (10点)

ゼブラフィッシュを一定濃度のナノプラスチックに暴露させた場合、取り込み量がプラトーに達し、消失しても、最大体内濃度は暴露濃度の上昇に比例して増加したことから、ヒトにおいても暴露、取り込み、排泄には平衡状態が生じる可能性があり、環境中の暴露濃度が体内の蓄積量を決定する可能性があると考えたから。(146 字)

出題の意図：アドミッションポリシーの中の「医学を学ぶ基礎学力を有する人物」および「物事を論理的に整理・展開できる人物」を選抜するための出題である。

- 問1 比較的長い英文の読解力を評価する。
問2 短い英文の読解力を評価する。
問3 要約力、比較的長い英文の読解力を評価する。

解答例

問1 (10点)

Long COVID の主な症状には、疲労、認知機能障害、息切れ、不安、抑うつなどがある。これらは仕事や家事の遂行、対人関係の維持、余暇活動への参加などに支障をきたし、個人の生活機能を低下させる。特に働き盛り世代においては、生産性の損失が社会的に深刻な影響を及ぼす。

問2 (5点)

疲労は機能障害の程度の違いを説明する主要な症状であり、仕事への支障や日常生活の活動能力に大きな影響を及ぼしていると考えられた。

問3 (10点)

Long COVID についての現在のエビデンスはまだ十分に整っておらず、医療における意思決定に活用するには不十分である。前向き研究により、機能障害や生活の質、社会的コストの変化を長期的に把握することで、医療資源の適正配分や政策立案に科学的根拠を提供できる。

出題の意図：アドミッションポリシー内の「生命現象や国内外の医学・医療に強い関心がある人」の選抜に関わる出題である。現代社会で重要性を増すメンタルヘルスに関し、うつ病とストレスの医学的・社会的背景を多面的に考察する力を通じて、医学部志望者の論理的思考力と倫理的感性を評価する題材として英文を選択した。

問1 英文の読解力, 論理的思考力を評価する。

問2 英文の読解力, 論理的思考力を評価する。

問3 比較的長い英文の読解力, 要約力, 論理的思考を評価する。

解答例

問1 (5点)

個人がストレス要因の発生に積極的に関与しうること

問2 (10点)

否定的認知様式などの認知的要因、神経症性などの性格的要因、社会依存性などの対人的要因

問3 (10点)

ストレスのサブタイプ(例えば共同体的や対人ストレス)を通じてストレス生成を予測できる固有の脆弱性要因の探索、脆弱性要因間の相互関係、ストレス生成における性差、ストレス生成に関連する脆弱性要因と青年期発達との相互作用といった、ストレス生成の将来的な検証に向けた提言を行った。